

平成 29 年第 1 回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
1	9	大崎ニューネット 木村和彦	<p>1 予算編成と総合計画策定に係る今後について</p> <p>(1) 10 年間にわたる策定に対する市長の責任と今後の決意</p> <p>(2) 市長の描く大崎市のサンクチュアリは</p> <p>2 本庁舎の建設について</p> <p>(1) 大崎市中心市街地復興まちづくり計画において職員中心に進められる基本構想について</p> <p>(2) 建設手法について (プロポーザル方式, その他)</p> <p>(3) 鳴子, 田尻総合支所建設における協働のまちづくりに沿った住民要望の取り扱いと現実に即した事務効率化の両立について</p> <p>3 第 2 期行政改革大綱について</p> <p>(1) 人口減少, 少子高齢化に対応する市民サービスの拡充と相反する効率的かつ効果的な改革の可能性は</p> <p>(2) 人口減少に対応する少子化対策は</p> <p>(3) 財源確保策等, 遊休資産の活用と売却の方向性</p> <p>4 自治体支援と市民協働の推進について</p> <p>(1) 人材育成事業とステップアップ交付金事業のリンクアップ</p> <p>ア これまでの活動に対する新たな支援は</p> <p>(2) 地域を超えた活動や情報共有はまちづくりの基本では</p> <p>5 地域公共交通について</p> <p>(1) 地域公共交通網形成計画の各種事業推進に係る法的根拠と, 大崎市独自の地域内公共交通に係る法整備の必要性は</p> <p>(2) 検証の時期と見直しローテーションの考え方</p> <p>6 新大崎市民病院改革プランについて</p> <p>(1) 住民合意の形成</p> <p>(2) 医療水準の維持拡充, サービスと住民協力の考え方</p> <p>(3) リハビリテーション機能の充実策</p> <p>7 農業振興策について</p> <p>(1) 基幹産業と位置づける農業施策</p> <p>ア 青年就農者への本市独自の支援策は</p> <p>(2) 農業遺産と農業の振興策の連携は</p> <p>8 林業振興策について</p> <p>(1) 里山林再生事業の実効性と向上策</p> <p>9 中心市街地復興まちづくりについて</p> <p>(1) 市役所周辺整備, 敷地整序型土地区画整理事業, 千手寺町周辺地区整備事業, 子育て支援センター, 大崎広域消防本部等の連携を強化し, 無駄の少ない整備手法は</p> <p>(2) 周辺住民に限定せず, 広く市民に PR すべきと思うが</p> <p>10 三本木パークゴルフ場について</p> <p>(1) 地域住民, 利用される方々に真に愛される施設整備</p> <p>(2) 住民の不安解消策</p> <p>(3) 周辺温泉, 道の駅などとのコラボ</p> <p>11 産業支援について</p>	120 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
2	3	改新クラブ 八木吉夫	<p>(1) プレミアム商品券の期待度は</p> <p>(2) 中小企業・小規模企業に関する条例の制定に向けた取り組み ア 商工会議所, 各商工会の要望と行政支援</p> <p>12 学校教育について</p> <p>(1) 教育指導力向上の具体策</p> <p>(2) 学力調査結果に係る対応と学校間の意識共有</p> <p>(3) 他市に学ぶ, 先進地視察を含めた情報集約</p> <p>13 病院事業について</p> <p>(1) 分院機能の充実と機能集約による収益改善策</p> <p>(2) 鳴子温泉分院建設と住民要望, 拠点機能集約の整合</p> <p>14 水道事業について</p> <p>(1) 大規模整備予定, 水道料金の統一, 改定</p> <p>(2) 社会構造の変化に対応した事業計画策定</p> <p>15 地産地消について</p> <p>(1) 大崎市産材の利用割合向上策</p> <p>(2) メード・イン・大崎, 工業製品の取り扱い</p> <p>(3) 効率を考えた地場産の利用 ア 木質ペレットの現状, コスト</p> <p>1 新年度予算編成について</p> <p>(1) 力点を置いたところは何か</p> <p>(2) 財政の将来見通しは大丈夫なのか</p> <p>2 市役所本庁舎等の建設について</p> <p>(1) 構想, 建設手法はどのようなものか</p> <p>3 宝の都(くに)・おおさき市地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 新規事業の創出とはどのようなものか</p> <p>4 第2期行政改革大綱の策定について</p> <p>(1) 安定した行財政基盤の確立はできるのか</p> <p>5 地区集会所の整備について</p> <p>(1) 古川地区中心部のコミュニティー施設がない地区はどうするのか</p> <p>6 子育て支援拠点施設整備事業について</p> <p>(1) 若者定住, 子育て世帯の住居建設構想はないのか</p> <p>7 第2次食育推進計画について</p> <p>(1) 具体の事業はどのようなものか</p> <p>8 再生可能エネルギーについて</p> <p>(1) バイオマス事業の創出とはどのようなものか</p> <p>9 産業創造推進事業, 創業支援事業について</p> <p>(1) ビジネスサポートセンター的機関の設立の考えは</p> <p>10 シティプロモーションの推進について</p> <p>(1) ふっふっ共和国構想の発酵産業推進の考えは</p> <p>11 農業の振興について</p> <p>(1) 市の独自施策も展開するとあるが, どのようなものか</p> <p>12 園芸作物の振興について</p> <p>(1) 果樹栽培についてはどのように捉えているのか</p> <p>13 畜産振興について</p> <p>(1) 肥育農家に対しての具体の支援策は</p>	90分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	29	日本共産党大崎市 議会議員団 小沢和悦	<p>14 商業振興について (1) プレミアム商品券発行事業をどのように捉えているのか</p> <p>15 工業振興について (1) 工業団地の整備をどのように捉えているのか</p> <p>16 中心市街地復興まちづくりについて (1) 市役所周辺整備，緒絶川周辺整備，千手寺町周辺地区整備，大崎広域消防本部・古川消防署建設事業，新図書館周辺整備，七日町西地区の再開発事業等の財政的見通しは</p> <p>17 国の道路事業について (1) 国道4号の4車線拡幅事業の見通しは</p> <p>18 都市計画道路李塚新田線改良事業について (1) 計画どおり進められるのか</p> <p>19 化女沼古代の里整備事業について (1) 古川地区の観光名所でもあるが，駐車場の整備だけなのか</p> <p>20 雨水対策事業について (1) 常襲冠水地域の排水路整備はいつごろ実現できるのか</p> <p>1 災害対策について (1) 吉田川（宮城県管理部分）の河道掘削，築堤によって流下水量が5倍化するとの報道があり，下流の住民に不安が強まっている。通常，河川整備は下流からが原則である。河道の狭い鹿島台地域から太平洋に注ぐ河口までの河川整備が優先して実施される約束を国土交通省，宮城県から取りつけているのか (2) 一昨年の関東・東北豪雨被害に対する支援策は，農業以外の事業者には融資面だけで，実質的にはないも同然であった。今でもそれでいいと思っているのか (3) 昨年の台風10号への避難準備情報と避難所指定に問題はなかったか (4) 女川原発で重大事故が発生した場合，石巻市民3万9,000人を大崎市が受け入れるとのことであるが，風向きによっては大崎市民が避難しなければならない事態も想定される。それを想定した避難計画について，県外自治体に相談しているのか</p> <p>2 市長の政治姿勢について (1) 女川原発の再稼働に賛成か反対か，理由を含め，伺う (2) 100ベクレル超400ベクレル以下の放射能汚染牧草等すき込みに180年かかるとする表明は，専門家のいかなる科学的根拠に基づくものか</p> <p>3 生活困窮者自立支援事業に本気で取り組むべきではないのか (1) 野洲市に勝るとも劣らない取り組みをしていると語る人もいるようであるが，執行部もそう思っているのか (2) 今後の事業内容と体制について，どう考えているのか</p>	60分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	16	大志会 富田文志	1 行政改革の検証と方向性について (1) 職員定数削減の功罪についてどのように検証しているか (2) 財政調整基金の積み増しの成果と、今後の活用の方向性は (3) 政策提示のあり方、議会への説明の時期 2 放射能汚染指定廃棄物処理の方向性について (1) 大崎市の燃焼処理の方向性は (2) 住民への不安払拭のための説明をどのように進めるのか (3) 国・県に対しての大崎市の主体性は 3 世界農業遺産認定後の振興策について (1) かんがい施設遺産, 土木遺産, 世界農業遺産, これらの遺産を連携づけたこれからの取り組みの方向性は 4 将来を見据えた農政について (1) 平成 30 年からの転換を迎えるに当たって、今年度からの施策の取り組みが重要と思うが、どのように進めていくのか 5 観光振興について (1) 大崎市の観光と鳴子温泉の位置づけ, 本物の「おもてなし」とリピーター獲得の方策 (2) 観光振興策として大崎市の物産をどのように生かしていくのか 6 中心市街地復興まちづくりについて (1) (仮称) 道の駅おおさきの全体像, 基本コンセプトは何か (2) 防災広場の活用策 7 病院事業について (1) 本院が取り組んできた高度医療 10 年の総括と, これからの目指す方向性は (2) 地域医療と分院の位置づけ (3) 本院が目指す治療医療と, 保健行政としての予防医療, 福祉行政としてのリハビリ医療の方向性	60 分
5	10	清和会 加藤善市	1 市役所本庁舎建設と市役所周辺整備事業について (1) 財政運営について (2) 後年度事業の考え方 2 宝の都 (くに) ・おおさき市地方創生総合戦略について (1) 総合戦略の中の新規事業の内容 (2) 総合戦略の中の既存事業の内容 3 地域公共交通について (1) 中心市街地循環便の考え方 (2) 古川地域の郡部の交通の考え方 (3) 観光の循環バスの考え方	45 分
6	17	公明党 山田和明	1 待機児童解消策と保育士の処遇改善について	30 分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	15	おおさき市民会議 相澤孝弘	<p>(1) 政府は、平成 29 年度から保育園の整備などによる受け入れ児童数の拡大を図るため、保育士の処遇改善による必要な保育士確保を目指しているが、大崎市では保育所の整備で待機児童は解消されるのか、伺う。また、保育士の処遇改善を明確にすべきであると考えerがどうか、所見を伺う。</p> <p>2 幼児教育無償化への推進について</p> <p>(1) 市民税非課税世帯について、第 2 子の保育料の無償化と多子、ひとり親世帯などの保育料の軽減拡大が図られるが、大崎市ではどう取り組むのか、所見を伺う</p> <p>3 おおさき市地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 平成 28 年度の大崎市版総合戦略では、創設された推進交付金で雇用創出や観光振興、移住促進などに取り組んでおり、制度が始まって 2 年目を迎え、国では推進交付金を大幅にアップしている。そこで、これまでの事業を拡充すべきであると考えerが、どうか。そして、新たな事業展開をすべきであるがどうか、所見を伺う。</p> <p>また、大崎市企業版ふるさと納税制度を活用し、全国の企業にふるさと納税を呼びかけてはどうか、所見を伺う</p> <p>4 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために</p> <p>(1) 住民どうしの助け合いで地域社会の活力をつくり出していく取り組みについて</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムと地域共生社会の実現を目指す取り組みについて</p> <p>5 病院改革プランを進める上で分院の果たす役割を明確にすることについて</p> <p>(1) 人口が少ない地域に分院が所在し、唯一または中心的な機能を果たしている。病院改革プランを進める上で地域医療構想を踏まえ、分院の果たすべき役割を明確にすべきではないのか、所見を伺う</p> <p>1 施政方針から大崎市の将来ビジョンとプラチナ社会について市長の考えを伺う</p> <p>(1) 未来を生きる世代のために、子供たちが夢に向かって頑張れる国づくりをどのような視点で事業に当たるのか。一年之計、莫如樹穀。十年之計、莫如樹木。終身之計、莫如樹人。「管子」権修の教えを引用して伺う</p> <p>ア 子育て支援、人材育成について</p> <p>1) 保育内容の改革と学童保育の充実を図る考えは</p> <p>イ 知体徳の向上はどこが、誰が、どのように担うのか</p> <p>1) 全国平均以下を脱して、ランキング上位がもたらすものは</p> <p>2) スポーツ、文化芸術等の経済的な支援方法は</p> <p>(2) 大崎市の未来を創意と工夫と努力で切り開き、意欲的なチャレンジに地方創生交付金が後押しするとしている政府の方針に、どのような分野を事業化していくの</p>	30 分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			か ア 地産地消，地産外商による地域循環型地域経済の取 組みについて イ 個人が満足できる産業構造の変革と就労，所得の確保 について ウ 大崎耕土，風土のよき伝統と，新時代に向け創造して 事業化していくものは何か	